



家族に囲まれて記念写真を撮る鶴丸さん。9月15日現在、市内には100歳以上の高齢者が89人（男性13人、女性76人）いらっしゃいます

## 県内で4番目の長寿 市内最高齢鶴丸百合子さんをお祝い

9月15日、介護老人保健施設みずほで老人の日のお祝いが開かれ、宮原市長が市内最高齢の鶴丸百合子さんを表敬訪問し、長寿をお祝いました。鶴丸さんは大正2年7月14日生まれの109歳で、県内では4番目の長寿になります。鶴丸さんへは、宮原市長から賞状と記念の花（西諸県地区花き振興会提供）が贈られました。

## 西高相撲部がインターハイの結果を報告

9月9日、小林西高校相撲部が宮原市長を表敬訪問し、7月の全国高等学校総合体育大会の結果を報告しました。大会では、富永陸さんが個人体重別戦80キログラム級で準優勝、下田大樹さんが同100キログラム級で第5位に入賞したほか、団体戦にも出場しました。



## 「ななつ星」走行を前に吉都線沿線を清掃

9月14日、JR吉都線の沿線6駅で、九州旅客鉄道株と吉都線利用促進協議会による清掃活動が行われました。10月から吉都線を走行する豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」を迎え入れるためのもので、JR小林駅では21人が参加。ホーム周辺の草刈りなどを行いました。



※「ななつ星 in 九州」関連記事は13頁

## 小野湖にスポーツ大会を誘致 県高校1年生ボート大会開催

9月10日、11日に小野湖特設会場で、宮崎県高等学校1年生大会ボート競技（県高校体育連盟主催）が開催されました。市の合宿誘致推進事業の一環で開催され、妻高校（西都市）・高鍋高校（高鍋町）・日章学園高校（宮崎市）の選手が出場。初めてとなる公式大会で、選手たちはオールを手に1千メートルのコースを懸命に漕いでいました。



力強くオールを漕ぐ選手たちの姿に、競技を見守る監督や保護者からは大きな声援と健闘をたたえる拍手が上がっていました

## 住民一体となり地域防災に取り組む

8月28日、紙屋地区運動広場で紙屋一徳防災フェスタ2022が開催されました。地区住民の防災意識の高揚を目的に開催。避難訓練と小林市消防団長の防災講話により、災害への備えや自助、共助といった地域防災の重要性を再確認しました。



## 安全な電気使用のためのボランティア

9月2日、小林地区電気工事業協同組合が、電気使用の安全に関する知識啓発を目的に、電気設備不良器具改修などのボランティア活動を行いました。電気使用安全月間に合わせて長年取り組んでいる活動で、野尻地区では防犯灯の清掃や電球取り替えを行いました。



## 食育と地産地消推進などを目的に 学校給食で小林産のぶどうを提供

9月2日、市内小中学校11校の給食で、特産品のニューピオーネ4700粒（約54匁）がふるまわれました。これは小林市地産地消推進協議会（瀬崎博志会長）がコロナ禍で消費が落ち込んでいる農産物の消費拡大と、子どもたちが地元の農産物を食べることで、食育と地産地消の推進を行うことを目的に提供されたものです。



当事業は3年前から実施されている取り組みで、今後はぶどうや梨、新米などを提供していく予定です



市長から祝品の贈呈を受けた大出水拓磨さん、美幸さん、陽叶くん、瑛叶くん家族。拓磨さんは「家計の助けになり、嬉しく思います」と話しました

## 出産・子育て世帯を応援します 赤ちゃん誕生を祝い育児用品を贈呈

9月2日、市内で生まれた赤ちゃんに育児用品などを贈る「おめでとう赤ちゃん祝品事業」の開始セレモニーが市役所本庁舎1階で開催され、当日祝品の受け取りに訪れた家族に市長が直接祝品の贈呈を行いました。当事業は少子化対策のひとつで、社会全体で妊娠・出産と子育てを支える機運づくりを目的に新たに取り組むものです。



優勝した外園孝輔さんは「自身の優勝も嬉しいが、兄弟、そして金鳥井支部として好成績を残せたことが嬉しい」と喜びを話していました

## 全国空手道選手権大会で小林錬心館 金鳥井支部の選手が好成績を残す

8月17日、小林錬心館金鳥井支部の3人が、8月に行われた第50回全国空手道選手権大会の結果を市長に報告しました。大会では外園孝輔さんが一般男子重量級（組手）で優勝、外園耕規さんが一般男子中量級（組手）で準優勝、松永此叶さん（小林小5年）が小学生高学年（型）でベスト8と素晴らしい成績を収めました。

## 全国和牛能力共進会での活躍誓う 小林秀峰高校農業クラブが表敬訪問

8月26日、第12回全国和牛能力共進会の特別区に県代表として出品する、小林秀峰高校農業クラブが市長を表敬訪問しました。代表牛「まひろ」の引き手を務める松元未美さんは「全国の舞台にふさわしい、どの牛にも勝てる牛に仕上げたい」と決意表明。激励のため、市から同クラブへ牛用の刷毛やシャンプーなどを贈呈しました。



全国和牛能力共進会へは農業クラブの特別区への出品に加え、「家畜審査競技高校生部」に同校3年生の兒玉汐音さんが出場予定です